

# フォーユー新聞



発行：奉優会  
総務部人事課  
企画事業推進室

42号（平成23年1月発行）

今回は、「理事長のご挨拶」と「内定者懇親会の様子」をお届けいたします。

## ～ 新年に思う ～

社会福祉法人 奉優会 理事長 香取 眞恵子



初春のお慶びもうしあげます。

この日の日曜日楽しみにして居りました「等々力の家」で新年会を開催させていただきました。ご入居されている皆様の昼食となる「お祝い膳」も拝見したいですし、人の出入りが増えそうなので、季節柄、感染症予防の対策と、特にお掃除が行き届いているかどうか、いつにも増して気になったので確認のため、早めに会場にまいりました。

会は、振袖にたすき姿の担当職員の司会で、2、3階とも、定刻通り始まりました。既にフロアにご入居されている皆様が、嬉しそうに並んで座っておられました。お楽しみイベントの中でも「お餅つき」はご家族会の方々中心に2、3階フロアに大きな臼と杵、その下に敷く畳を運びこんでの作業でしたが、ご家族の餅をつく方、こねる方が大変息があっていて、見ているご高齢の入居者もお腹にずっしり響く餅つきの心地良い音を聞きながら、日本のお正月を心から愉しんで居られるようでした。

其の他のイベントも、昔活躍されておられたころの懐かしい歌や音楽が流れ、入居者それぞれの若い頃の写真のスライドが映し出され、そして、ご自身出演のその頃よくお召しになった服などでのファッションショー、そしてフロアに飾られたレトロな品々（お手玉、めんこ、羽子板、絵等）、終盤のボランティア学生協議会の皆様の威勢のよいソーランおどりには若い熱いエネルギーをたくさんいただきました、「ご高齢の方々にお喜び頂きたい！」と云う、関わった方々全員の「想い」が、喜びの形になって表現されておりました。本当に楽しい新年会でした。

おわりの、お茶をいただきながらご家族会の方々の楽しそうなおしゃべりの中で、「等々力の家はいつも暖かいふんわりとした雲のような空気に包まれているのを感じるのよね」となげなく言われた言葉を私は確かに聞いたのです。ああこの一言、私にとって「生きてて良かった」、「社会福祉法人を経営していて良かった」、と思わず涙が出るほどの、それはそれはうれしい10年目の予期しなかった「お年玉」となりました。

現在、急速に進む高齢社会の中で高齢者の問題は、昨今の「無縁社会」、「高齢者の孤立」、「経管栄養」、「進む認知症高齢者への対応」、「高齢者単身または高齢者のみ世帯の増加」、「老老介護」、「医療と介護の連携不足」、「介護保険制度の給付と負担の問題」等々数え切れないほどあります。どの問題もしっかり考えようとすると胸が押しつぶされそうになります。そんな巷の問題は嘘のように、明るい暖かで爽やかな空気を吸いこむ事ができました。

「等々力の家」の職員の皆さん、日頃の暖かい心と行動が伝わってきました。本当に有り難うございました！！

社会福祉法人奉優会の全職員の皆さまも、このようにご利用者の「お喜び」を「目標」に今年も精いっぱいがんばりましょう！



# 内定者懇親会が開催されました。

事務局  
総務部 人事課

12月22日に、平成23年4月に入社予定の新卒内定者の内定者懇親会を開催しました。当日は、当法人の運営する事業所を実際に見ていただくため、「霧が丘地域ケアプラザ」と「かわいの家」を訪問しました。また、夜の懇親会では、先輩社員も参加し、親睦を深めることができました。



理事長より内定者へメッセージ



「霧が丘地域ケアプラザ」を見学



「かわいの家」を見学



懇親会～渋谷にて～

# 平成22年度事例研究発表会が開催されました。

平成23年1月16日（日）、事例研究発表会が開催されました。当日は、職員をはじめ、地域の方、福祉関係者、事業所の自治体担当者など、200名を超える方にご来場いただきました。今回は、当日の入賞事例を速報でお知らせいたします。

最優秀賞

「笑顔と達成感をふたたび」

～コーラスサークルの立ち上げから発表まで～



デイホーム宮前ふれあいの家／鈴木・龍味・神山

優秀賞

「口から食べたい…」

～最後まで生きる喜びを～

等々力の家 栄養課／大屋

理事長賞

「もし宮前ふれあいの家の職員が  
ドラッカーの「マネジメント」を読んだら

～デイサービスのマネジメントについて～

デイホーム宮前ふれあいの家／金子・横田・渡邊

常務理事賞

「自主サークル未来計画」

～「支援される存在」から「地域を活性化する存在」へ～

弥生高齢者福祉センター／岩井・阿波連



受賞者の皆さんです。

※各事例内容については、  
次回のフォーユー新聞にて特集いたします。